北新宿出版

新刊のご案内（2025 年 11 月 28 日刊行予定）

【社会・ノンフィクション、ジェンダーご担当者様】

ジェンダーの終焉

【増刷】初回 3000 部完売につき、発売前増刷決定！】

リチャード・ドーキンス、スティーブン・ピンカー、ダグラス・マレー推薦！

気鋭の性科学ジャーナリストが、生物学、脳科学、進化心理学の知見をもとに、

ジェンダーをめぐる通説を検証する、必読の科学ノンフィクション。

「科学 vs.イデオロギー」

——不毛なジェンダー論争に終止符を打つ。

はじめに　生物学に対する戦い
第一章「生物学的性別はスペクトラムである」という神話
第二章「ジェンダーは社会的構築物である」という神話
第三章「ジェンダーは二つだけではない」という神話
第四章「性的指向と性自認は無関係だ」という神話
第五章「性別違和の子どもは性別移行すべき」という神話
第六章「トランス女性と生来女性に違いはない」という神話
第七章「女性はセックスや恋愛で男性のように振る舞うべき」という神話
第八章「ジェンダーニュートラルな子育ては有効だ」という神話
第九章「性科学と社会正義は相性がいい」という神話
おわりに　学問の自由の終焉

デブラ・ソー（著者）
セックス・セクシュアリティ・性的嗜好を専門とする神経科学者。カナダ・トロントのヨーク大学で博士号を取得し、11 年間にわたって学術研究に従事。その後、ジャーナリストとして、人間のセックス（性別）とジェンダー、政治に関する科学をテーマに執筆活動を行なっている。

森田成也（訳者）
大学非常勤講師。専門はマルクス経済学。主要著作に『マルクス主義、フェミニズム、セックスワーク論』（慶應義塾出版会、2021 年）。
主要翻訳にキャサリン・マッキノン『女の生、男の法』上下（共訳、岩波書店、2011 年）など多数。

ご注文は FAX 03-6733-7954 まで（担当・福田）

※鍬谷書店経由で全ての帳合の書店様に納品可能です（自動配本なし、随時返品可）。

貴店番線印	ご担当者様	ジェンダーの終焉 性とアイデンティティに関する神話を暴く 2025 年 11 月 28 日刊行予定
鍬谷書店扱	ご注文数 部	デブラ・ソー（著）、森田成也（訳） 装丁：大倉真一郎 定価：3000 円（＋税） ISBN978-4-911145-01-2 C0036

北新宿出版
〒169-0074 東京都新宿区北新宿 1-14-2 グローリア柏木 204
MAIL kitashinjuku.publication@gmail.com
TEL 090-7652-5609